



沖縄の年中行事を知るための10冊

加治 順人(沖縄県護国神社宮司)・選

『よくわかる御願ハンドブックーヒヌカン・トートーメー 12ヵ月ー』

「よくわかる御願ハンドブック」編集部(2006) ボーダーインク

旧暦の意味やヒラウコー(沖縄線香)の使い方、お供え物の基本までイラストでやさしく紹介。さらに年間の行事ごとの由来や意味、手順、グイス(御願することきに唱える言葉)を紹介したベストセラー。



よくわかる御願ハンドブックーヒヌカン・トートーメー 12ヵ月ー

『沖縄の年中行事 方法と供え物 御願のグイス』

高橋恵子(2009) 那覇出版社

正月から火の神のお迎えまで、さまざまな年中行事(御願・ウガン)でのグイス(祈りの言葉)や供え物について、丁寧にわかりやすく紹介している。



沖縄の年中行事 方法と供え物 御願のグイス

『沖縄の祭りと行事』比嘉政夫(1993) 沖縄文化社

おもな祭りと行事が簡潔に紹介されていて、その成り立ちなどが丁寧に解説されている。初心者には最適な入門書。



沖縄の祭りと行事

『沖縄しきたり歳時記』稲福政斉(2015) ボーダーインク

春夏秋冬、季節の折々に県内各地で古くから行われていた行事などについて、意味、名称の語源、地域による特色や時代による変遷を紹介。



沖縄しきたり歳時記

『沖縄の年中行事』崎原恒新(1989) 沖縄出版

年中行事は人々の暮らしの中に息づき、心の支えとして受け継がれてきた。一年を通じて様々に行われる行事を、丁寧に調査し、写真なども添えて解説している。



沖縄の年中行事

『定本 琉球国由来記』外間守善・波照間永吉編(1997) 角川書店

琉球王府により編集された地誌『琉球国由来記』(全21巻、1713年成立)の伝来本を校合した決定版。各地の祭祀・行事、事物の由来などが体系的に示され、琉球社会の諸相を伝える一冊。



定本 琉球国由来記

『沖縄の宗教と社会構造』

W.P. リーブラ著、崎原貢・崎原正子訳(1974) 弘文堂

民衆の信仰の基盤となる社会構造にも言及しつつ、沖縄固有宗教の全体像を明らかにした名著の完訳。外国人による秀逸な沖縄研究であり、沖縄研究に斬新な視点を提供した。



沖縄の宗教と社会構造

『沖縄の祭祀と信仰』平敷令治(1990) 第一書房

五穀豊穡を祈り、降雨を願い、村の繁栄や子孫繁昌を祈念する人びとの信仰心、そこに営まれる祭祀の諸相を綱引・年中祭祀・人生儀礼・外来宗教の受容など、あらゆる視角を駆使して見事に活写する。



沖縄の祭祀と信仰

『沖縄の祭りと年中行事』上江洲均(2008) 榕樹書林

各地の祭りと年中行事を分類・再構成し比較検討して、行事本来の意味や、分布状況などを解明した。



沖縄の祭りと年中行事

※郷土史・・・市町村史、字史(誌)など

沖縄は他県に類を見ないほど郷土史が充実しており、地域の特性を知るには市町村や字ごとに編まれた資料にあたるのがいい。地域の行事と生活が活写されており、たいへん面白い。